事例No.	2921
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	北海道岩見沢市

事例区分	DX

タグ	・ICT ・（行政改革）業務の効率化 ・会社法法人

事例種類	ICT

事例内容・タイトル

(2) 岩見沢市「いわみざわ地域ICT農業利活用研究会」

出典

活力ある地域社会の実現に向けた情報通信基盤と利活用の在り方に関する懇談会（第1回）

(2) 岩見沢市「いわみざわ地域ICT農業利活用研究会」

○ 岩見沢市の農業は、農家戸数の減少に伴い、一戸当たりの経営面積が拡大。農業従事者の高齢化も進み、農業の持続性確保が懸念。広い農地を少ない人数で適切に管理する手法の確立や、新たな担い手への技術や知識の継承を効率よく行い、将来にわたり岩見沢市の農業を持続的に発展させるため、ICTやロボット技術の活用が不可欠。

○ そのため、平成25年1月に**「いわみざわ地域ICT（GNSS等）農業利活用研究会」を市内生産者109名で設立**。ICTの具体的利活用について検討し、実務化すること及び農業の更なる高度化を目的として活動。**同会を含む産学官連携の推進体制を構築**し、トラクターの完全自動走行の実証等に取り組むことで、同会を通じた、**実証成果の各農家への普及展開を促進**。

連携体制構築事例

■ 自動トラクター等の農機の遠隔監視制御による自動運転等の実現（令和2年度ローカル5G開発実証採択案件）

ローカル5G等の無線通信システムを用いた、「レベル3（遠隔監視下での無人状態での自動走行）」による農機　作業を実現するとともに、映像情報を含むビッグデータの分析に基づく、農作業の最適な作業時期提示を実現するため、いわみざわ地域ICT農業利活用研究会を含むコンソーシアムを組成し、実証。

【コンソーシアム】
東日本電信電話㈱、いわみざわ地域ICT農業利活用研究会、岩見沢市、北海道大学、㈱スマートリンク北海道、㈱クボタ、㈱日立ソリューションズ、㈱NTTドコモ、㈱はまなすインフォメーション、いわみざわ農業協同組合、日本電信電話㈱、市内実証協力生産者

【実証概要】
① 自動運転トラクター等の、遠隔監視下での無人自動走行（複数台の同時走行、圃場間の公道走行、等）
② 各種センサーから取得される生育データ等の、ビッグデータ収集・解析（最適な農業計画策定、等）
③ 複数の既存インフラと組み合わせたネットワーク利活用（各種センサーやカメラ等を用いた排水路監視等）　等

【出典】いわみざわ地域ICT農業利活用研究会ウェブページ（https://iwamizawa-agritech-ict.jp/）、
農林中金総合研究所「スマート農業振興にかかる生産者組織の重要性―「いわみざわ地域ICT（GNSS等）農業利活用研究会」の取組みから―」（著者：主事研究員　小田志保）
（https://www.nochuri.co.jp/periodical/soken/contents/8065.html）を基に作成